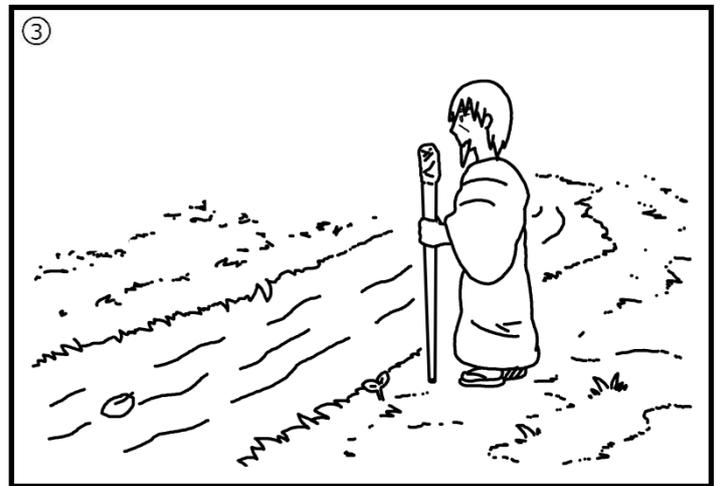
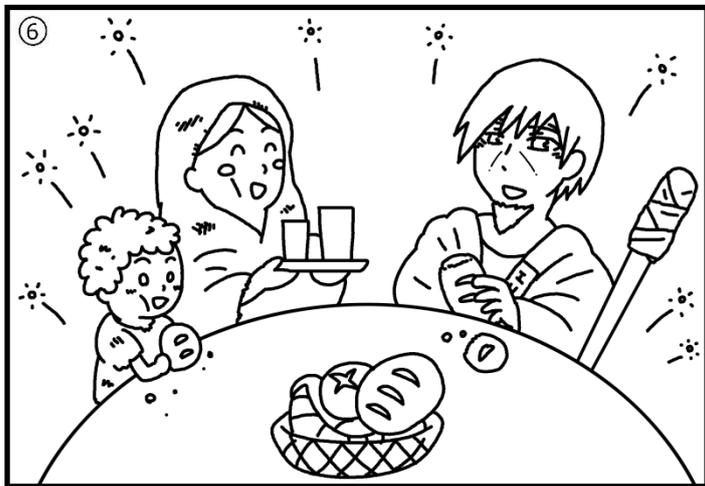


7月7日 「主イエスを信じて救われよう！」 使徒 16・25~34

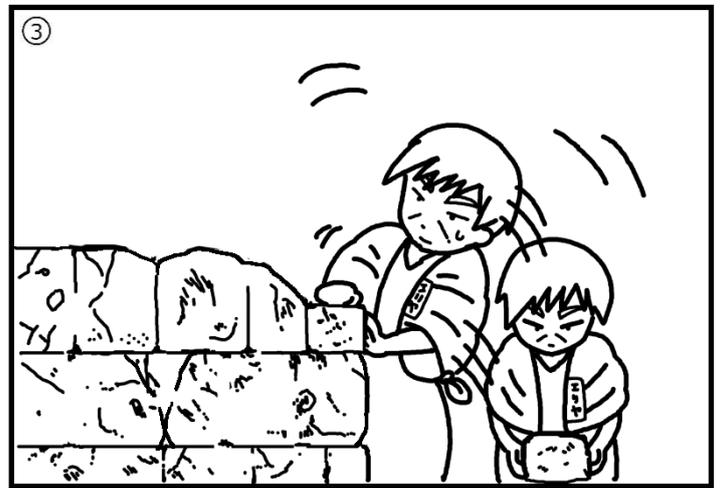
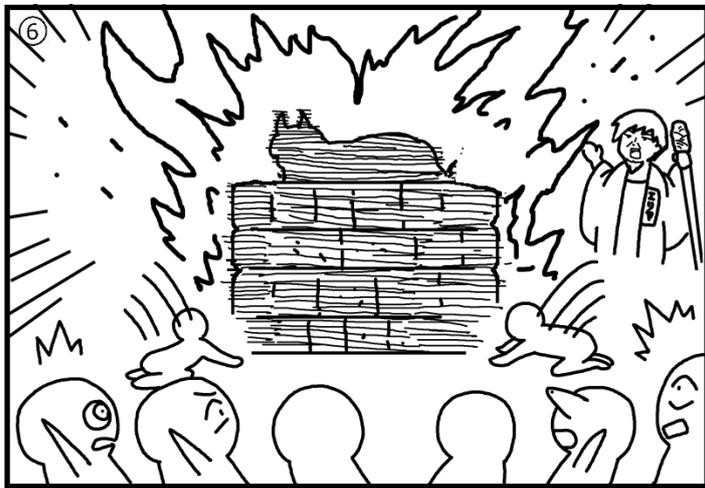
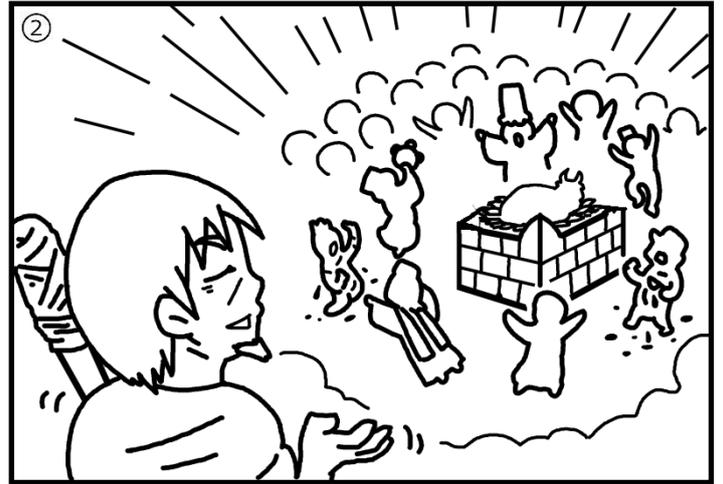
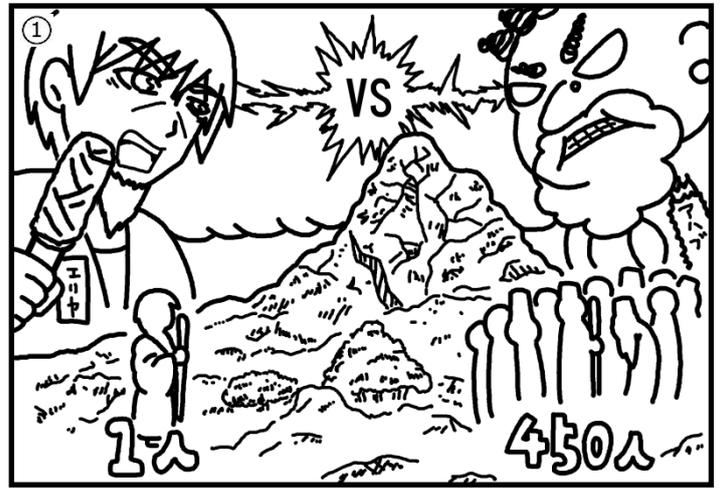
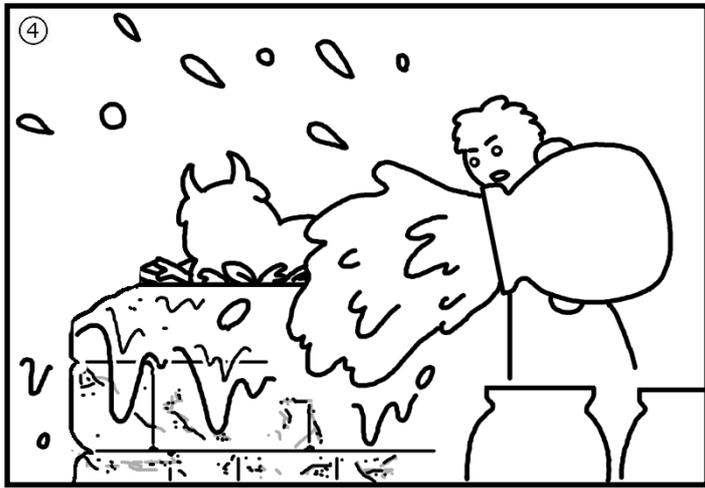
1. 占いの霊に取りつかれた女の霊を追い出したパウロたち。
2. 女主人は怒っている。ムチ打たれるパウロたち。
3. 獄屋の中で賛美したパウロたちと、それに聞き入る囚人たち。
4. 獄屋の戸が開いているのを見て、自ら命を絶とうとしている獄吏。
5. 自ら命を絶とうとしている獄吏を止めているパウロたち。
6. 獄吏の家族はみんな神様を信じ、主がくださる喜びが獄吏の家族に満ちた。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に14%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



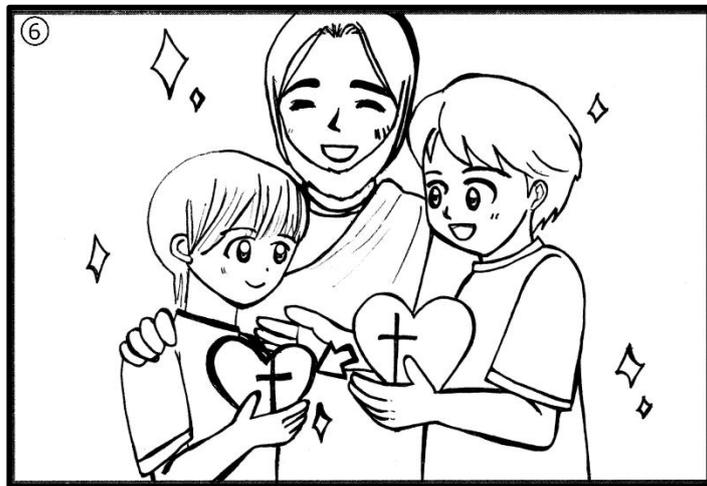
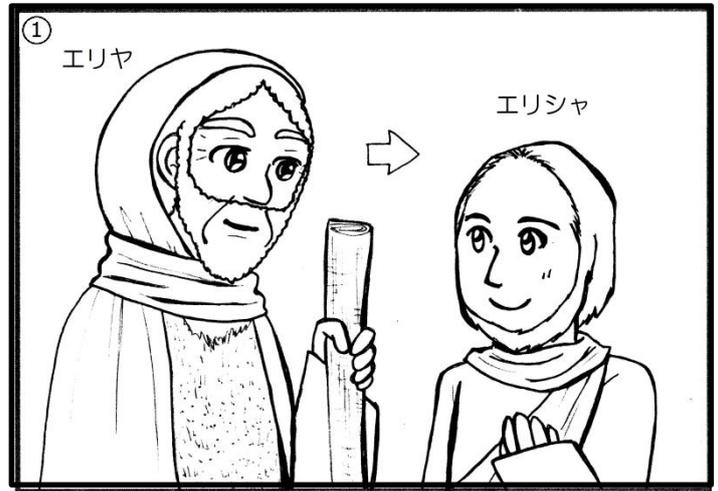
7月14日 エリヤ①生きて働かれる神 列王上 17・1～16

1. アハブ王さまが、命のない、にせの神様を拜むようにイスラエルの人たちに命令したのです。
2. エリヤが預言者として遣わされて言いました。「わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。わたしが何かを言わないうちは、数年、一滴も雨も露も降らないでしょう。」
3. 神様はおっしゃいました「東の方に行き、ケリテ川のほとりに隠れなさい。そしてその川の水を飲みなさい。わたしはからすに命じて、そこであなたを養わせよう」。エリヤは主なる神様のおっしゃるとおりにしました。
4. からすが毎日朝夕欠かさず、エリヤのところにパンと肉を運んできたのです。
5. 主は「ザレパテに住みなさい。そこのやもめ女に命じてあなたを養わせよう」とエリヤに語られたのです。そして、その町の貧しいやもめのために、「かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない」とエリヤに約束なさいました。
6. その言葉のとおり、エリヤも、彼女もその家族も、毎日おなかいっぱい食べることができたのでした。



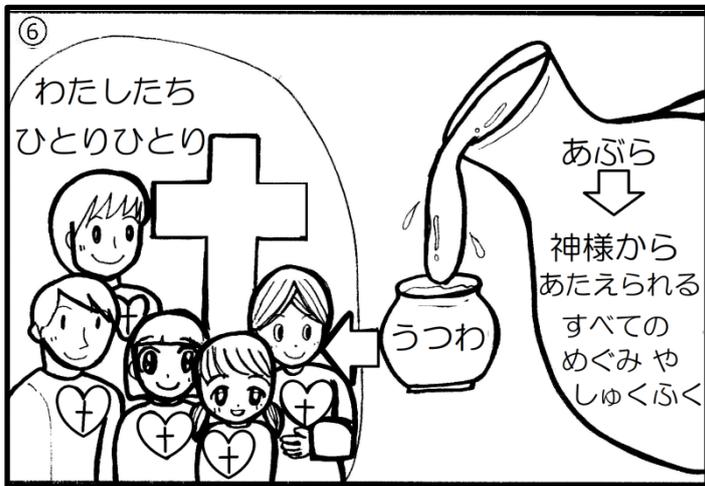
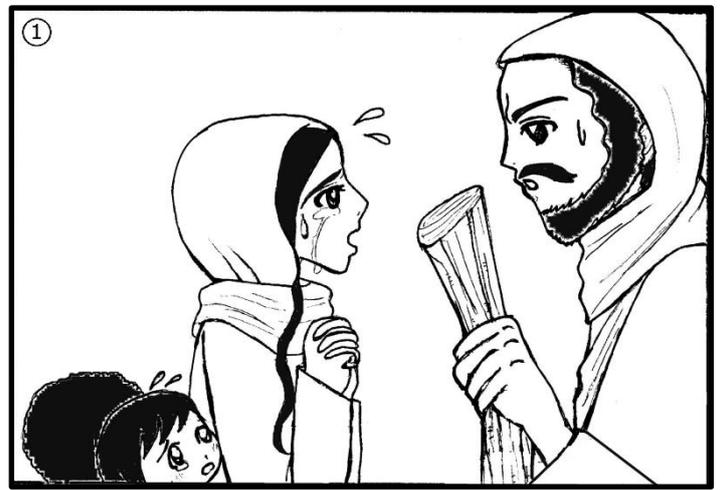
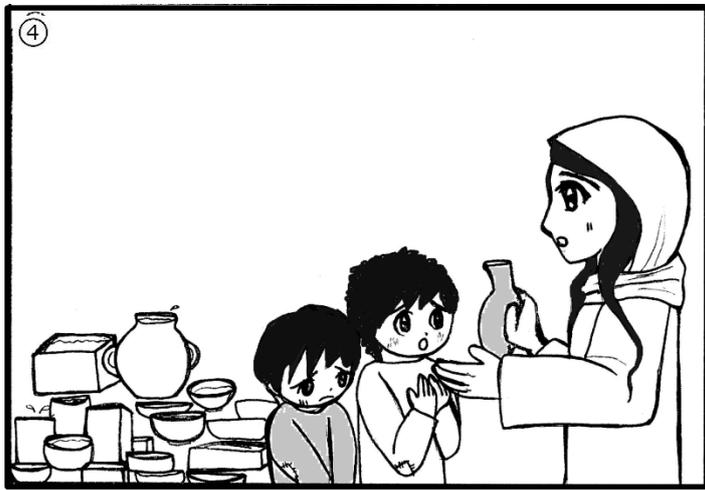
7月21日 エリヤ②火をもって答える神 列王上 18・20～40

1. カルメル山の頂は大騒ぎ！バアルの預言者は 450 人、イスラエルの神を信じる預言者はエリヤ一人です。
2. バアルの預言者達は「バアルよ～、どうかお答えくださ～い！」と朝から昼まで叫び続け、踊り続けましたが誰からも何の答えもありません。
3. エリヤは、こわれていた主の祭壇を、丁寧に築き直しました。
4. エリヤの指示で、なんと、三回も水がかけられました。祭壇の周りもみそも、水びたしです！
5. エリヤは祈りました。「主よ、私の祈りに答えてください。ここにいる皆が、あなたが神であることをはっきり知ることができるようにしてください。人々があなたのもとに帰ってくることをできるよう、どうか私の祈りにお答えくださり、火を下してください」
6. 突然、天から主の火が下って、いけにえや祭壇を全て焼きつくし、みその水もすっかり蒸発させてしまったのです。皆ひれ伏して叫びました「今こそ分かりました。主こそ神です。主こそ本物の、唯一の神様です！」



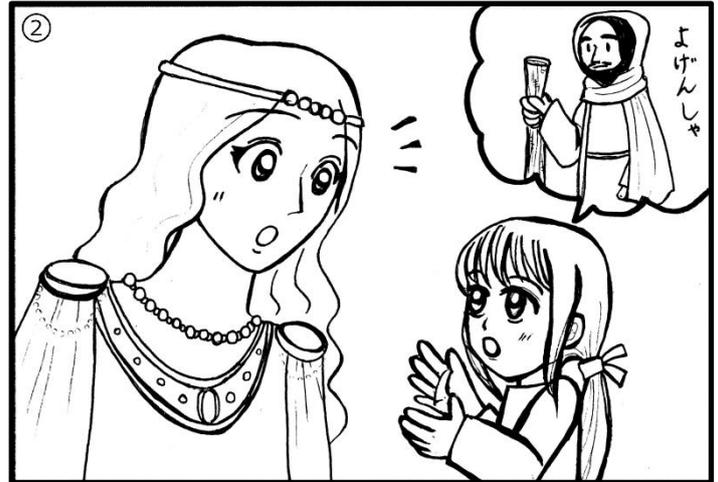
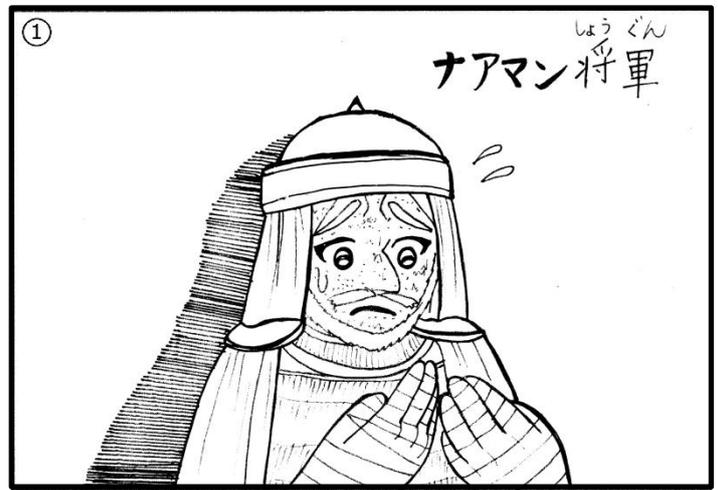
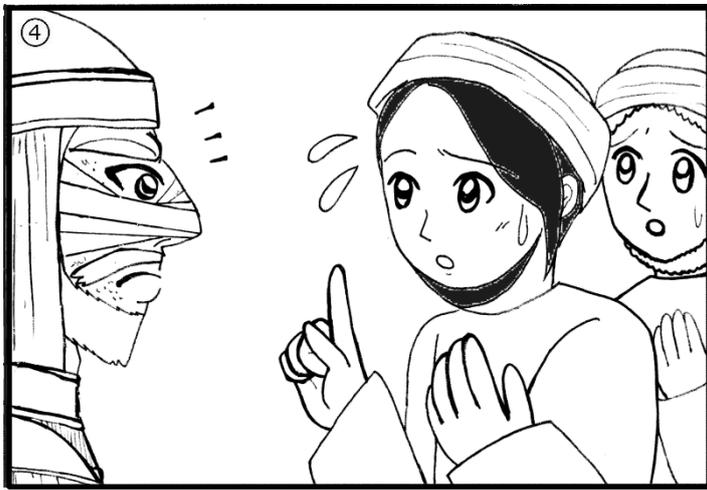
7月28日 エリシャ① 霊の二つの分 列王下 2・1～15a

1. エリヤさんの後継者、弟子に選ばれた人、それがエリシャさんでした。
2. やがて別れの時が近づきました。エリヤさんは天国に帰らなければなりません。エリヤさんが「ここにとどまってください」と何度言っても、エリシャさんは「わたしはあなたを離れません」と最後までついて来ました。
3. 遂に別れの時が来ました。エリヤさんは最後に「あなたのしてほしい事を求めなさい」と言いました。するとエリシャさんは「どうぞ、あなたの霊の二つの分をわたしに継がせてください」と言いました。
4. 間もなくエリヤさんは、天から迎えに来た「火の車と火の馬」に乗って、天に引き上げられました。エリヤさんをお父さんのように慕っていたエリシャさんは「ああ、わが父よ、わが父よ！」と泣き叫びました。
5. エリシャさんにはエリヤさんに宿っていた聖霊様の恵みと力がちゃんと宿っていたのです！その後、エリシャさんは預言者としての働きを立派に引き継ぐ事となりますのです。
6. 大切な事はその方が教えてくれた「イエス様を信じる信仰」をあなたが受け継ぐ事です！その次はあなたから誰かにその信仰を渡すのです！そうやって、信仰と聖霊と主の働きは、ずーっと受け継がれていくのです。



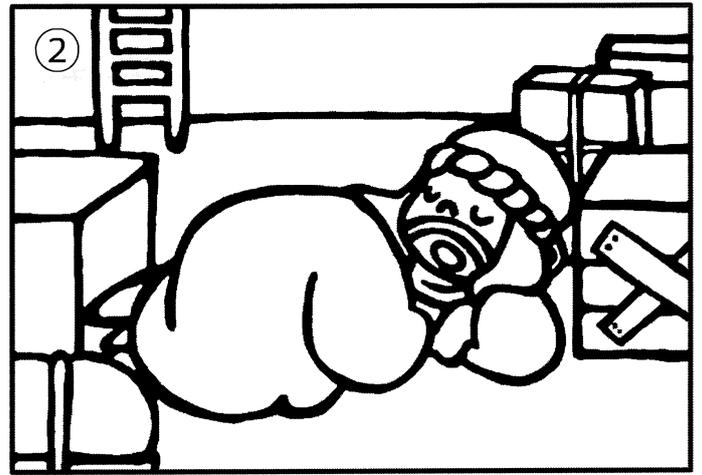
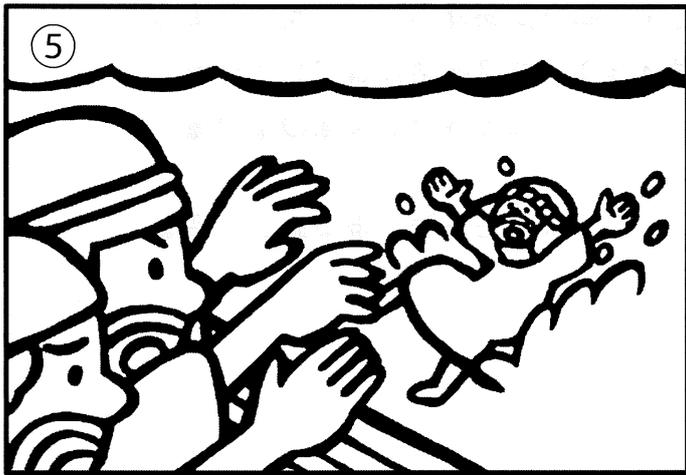
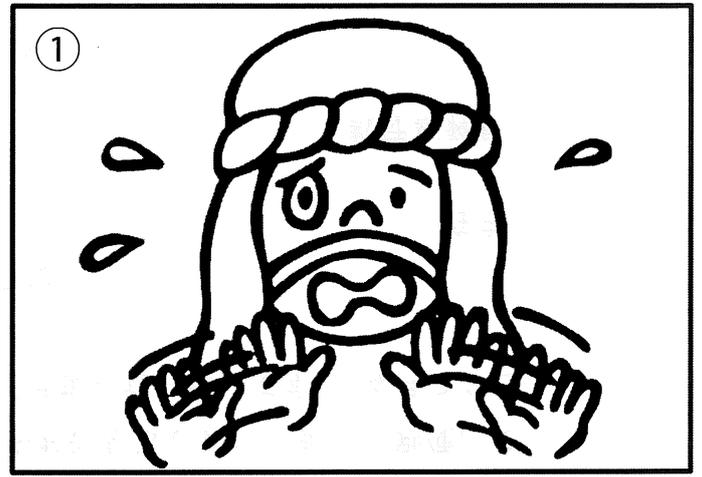
8月4日 エリシャ② 器と油 列王下 4・1～7

1. 預言者仲間の一人が死んで、その奥さんと子ども達は、これからどうやって暮らしていけばいいのか、とても困っていました。お金も財産も無いので、このままでは子ども達が奴隷にされてしまうのです！
2. その奥さんの家には一つのビンに入った油だけありました。エリシャさんは「隣の人々から器を借りなさい。あいた器を借りなさい。少しばかりではいけません。」と言いました。
3. お鍋や壺や水がめやら、器なら何でも借りてきて、言われた通り、戸を閉じ、器にビンの油を注ぎました。するとどれだけ注いでも油は無くならず、どんどん無限に出てきて全ての器を満たしていきました！
4. 彼女は子ども達に「もっと器を持ってきなさい」と言いましたが、子どもが「器はもう無くなっちゃったよ」と言うと、油は止まりました。
5. 油は色々な事に役に立つ貴重なものです。彼女はこの油をどんどん売って、借金を返し、その後も無事に生活することが出来ました！
6. 「油」は神様から与えられる全ての恵みや祝福を表しています。そしてそれを受け取る「器」は私たち一人一人です。



8月11日 エリシャ③ ナアマン将軍のいやし 列王下5・1~14

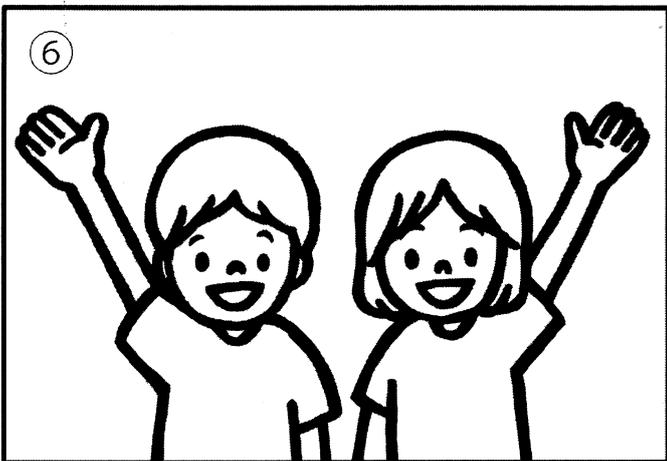
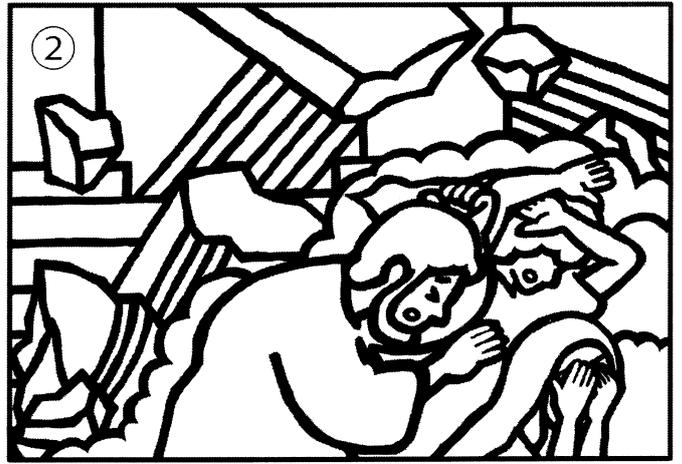
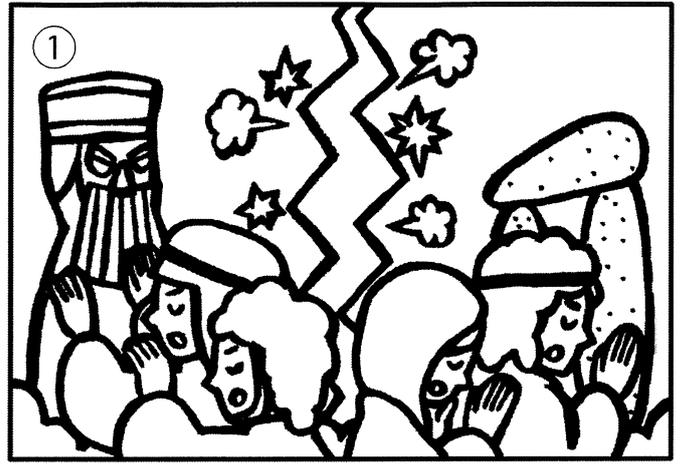
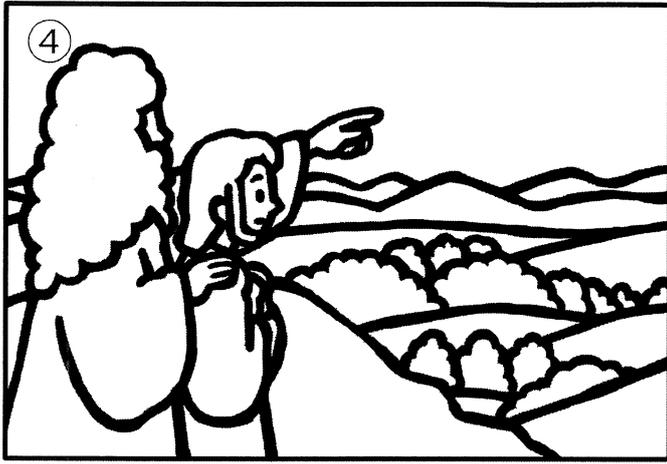
1. スリヤの国の将軍ナアマンは、見るからに強そうな外の姿からは想像もできない悩みが、隠れたところにあったのです。実は、身体中の皮膚がただれて痛くて、ものすごく苦しい病気を持っていたのです。
2. 彼の妻に仕えているユダヤ人の少女はナアマンの妻に言いました。「ご主人様は、サマリアにいる預言者のところへ行かれたらよろしいのに。きっと、その方が重い皮膚病を治してくださいますよ。」
3. お家から出てきたのはエリシャではなく、その使いの者でした。「ヨルダン川へ行って七回身体を洗いなさい。そうすれば、あなたのからだはもとのように治って清くなるでしょう。」「なんだと〜!？」かんかんに怒ったナアマンは、来た道を引き返そうとしました。
4. その時、ナアマンのしもべたちが追いついて言いました。
5. 気を取り直したナアマンは、ヨルダン川へ下って行き、言われたとおり、七回、水につかりました。
6. すると、皮膚は小さい子どものようにつやつやし、すっかり治ったのです。エリシャをとおして まことの神様がいやしてくださったのですね。



8月18日 神の命令に背いたヨナ ヨナ1・1～17

1. ニネベの町で神様のことばを伝えるように言われたヨナは、神様の命令を拒みました。
2. ニネベとは逆方向の船に乗り込むと船底に下りて行って、いびきをかいて眠ってしまいました。
3. しばらくすると海に大風が吹いて大荒れになりました。
4. 「こんなに海が荒れるのは、誰かのせいにちがいない！」と全員でくじ引きをすると、ヨナが当たりました。
5. ヨナは自分が神様の命令に背いて逃げてきたことを話しました。ヨナが海に沈むと、大荒れの海はたちまち静かになり、人々は神様の大きな力に驚きました。
6. 神様は背いたヨナを見捨てずに、魚を備えて助けて下さいました。

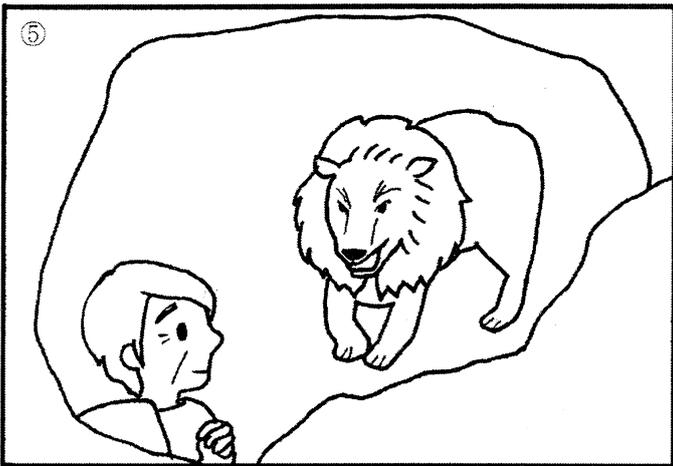
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



8月25日 神様の呼びかけに従うエレミヤ エレミヤ1・1～10

1. イスラエルの国の人々は自分かってに生きるようになり、神様の裁きにより北と南に別れてしまいました。
2. やがての時、南王国も滅ぼされて、神殿は壊され、人々は囚われるという運命が待ち受けていました。
3. 神様はまだ年の若いエレミヤを呼んで、神様の言葉を人々に伝える預言者になるように言いました。
4. 神様はエレミヤに、「恐れてはいけません。わたしはあなたといつも共にいて、必ずあなたを守り助けます。」と約束してくださいました。
5. 神様はエレミヤの口に触れて、「わたしの言葉をあなたの口に授けた。」とおっしゃいました。
6. イエス様の呼びかけの声を聞いた時、「はいっ！」って従う人になることを神様は願っておられます。

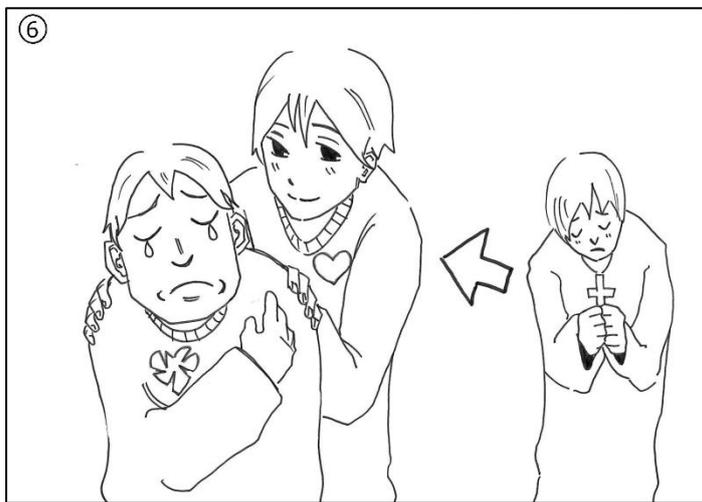
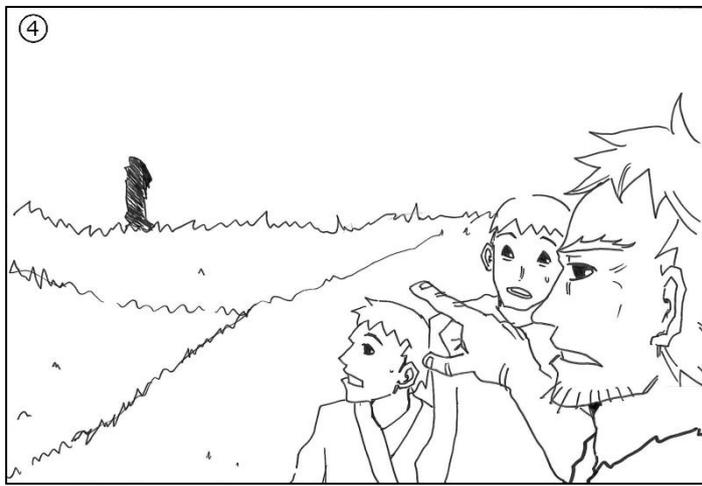
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月1日 「心から神を礼拝しよう。」 ダニエル 6・1～24

1. バビロンに連れてこられたダニエル。ダニエルは神様から与えられた優れた霊により知恵と知識が与えられた。
2. ダニエルを気に入った王様。それをねたむ者たちが見ている。
3. 総監や総督たちは、王様に禁令を出してほしいと願い出ている。
4. 禁令が出されても、いつものように窓を開けて神様に祈りをささげるダニエル。
5. 獅子の穴に投げ込まれたダニエル。
6. 天使は獅子の口をふさぎ、ダニエルは守られた。

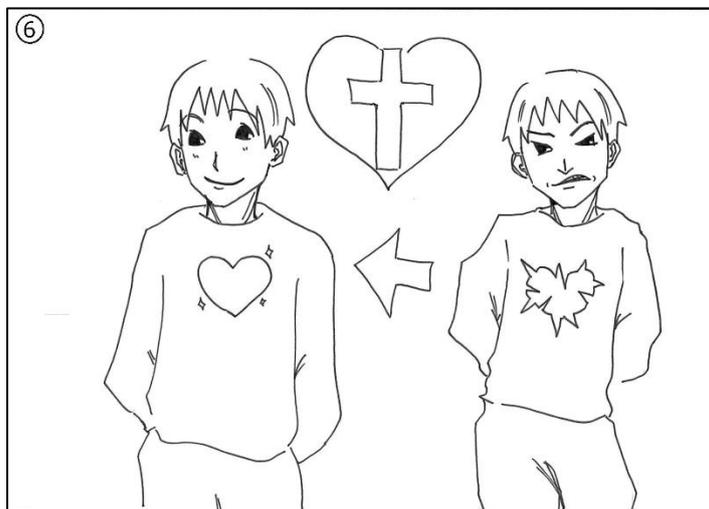
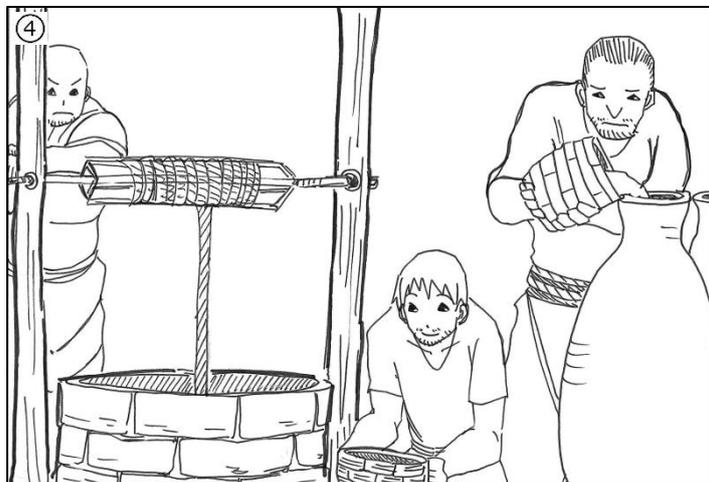
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月8日 神の小羊 ヨハネ1・29~37

1. 今日の聖書に出てくる「神の小羊」とは、どんな子羊なのでしょう。
2. みなさんはバプテスマのヨハネという人を知っていますか。
3. バプテスマのヨハネが洗礼を授けていると、祭司やレビ人といった人たちがやってきました。
4. 「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」
5. 「世の罪を取り除く神の小羊」とは、十字架にかかって罪からわたしたちを救うイエス様のことです。
6. 聖霊なる神に導いていただいて、イエス様に喜ばれる、まわりの人を大切にする生活ができればどんなに素晴らしいことでしょうか。

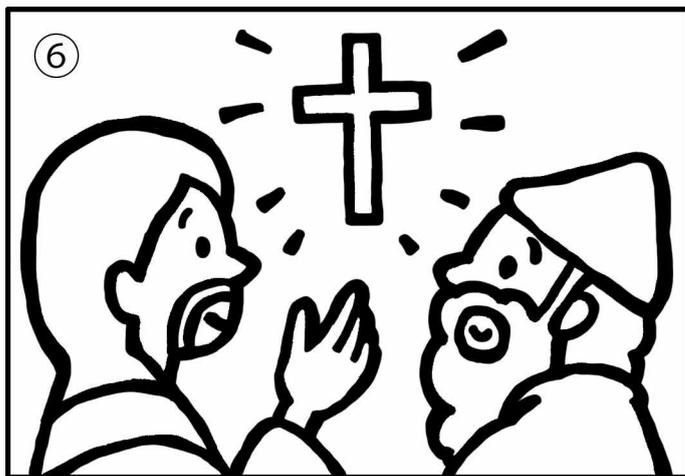
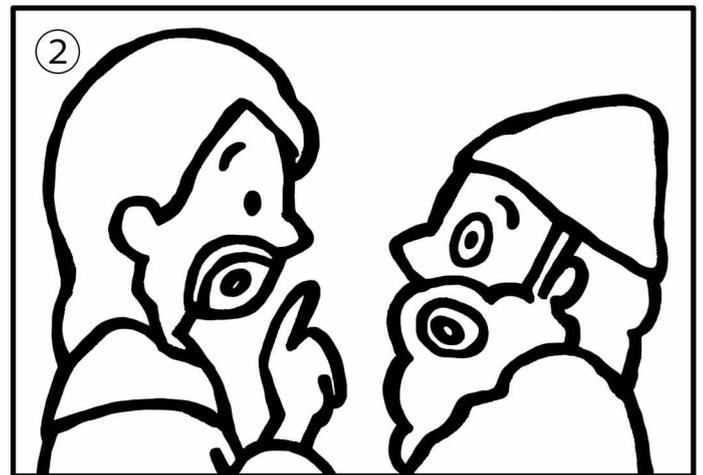
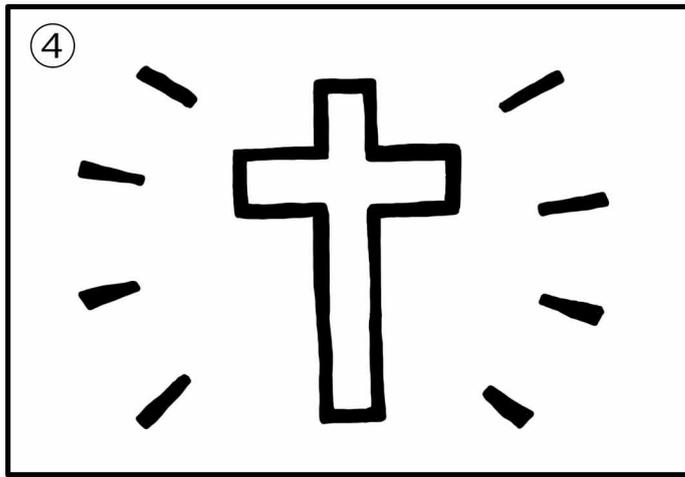
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月15日 水がぶどう酒に ヨハネ2・1~11

1. みなさんは結婚式に出たことがありますか。
2. ところがその結婚式のパーティーでトラブルが起こりました。ぶどう酒がなくなったのです。
3. 「ぶどう酒がなくなってしまったわ」ところがイエス様は、「女の人、あなたとわたしと何の関係がありますか。」
4. するとイエス様はしもべたちに「かめに水をいっぱい入れなさい」と、言いました。
5. 味見をした料理長はびっくり。花婿さんと呼んで言いました。「上等のぶどう酒じゃないか。」
6. 神様の気持ちは無視し、人より自分が得たいという自分中心に生きているわたしたちを、イエスさまに喜ばれる人に変えてください。

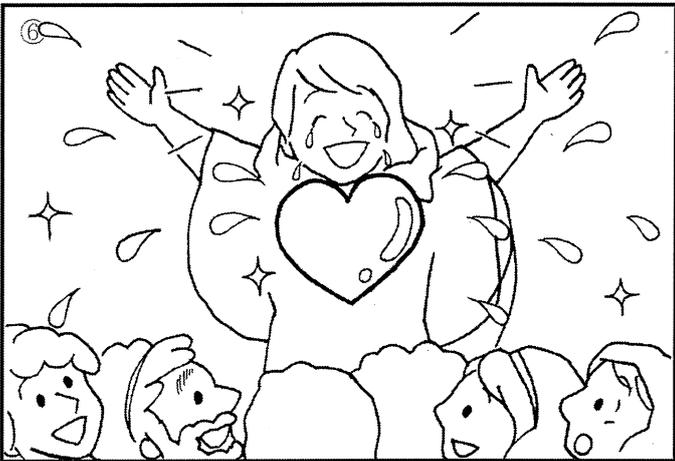
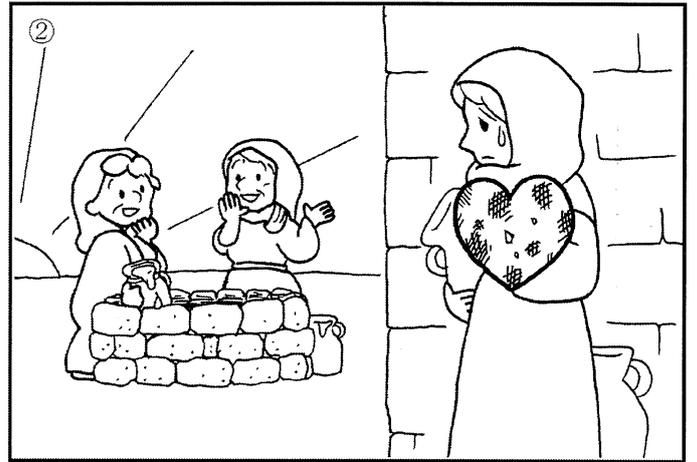
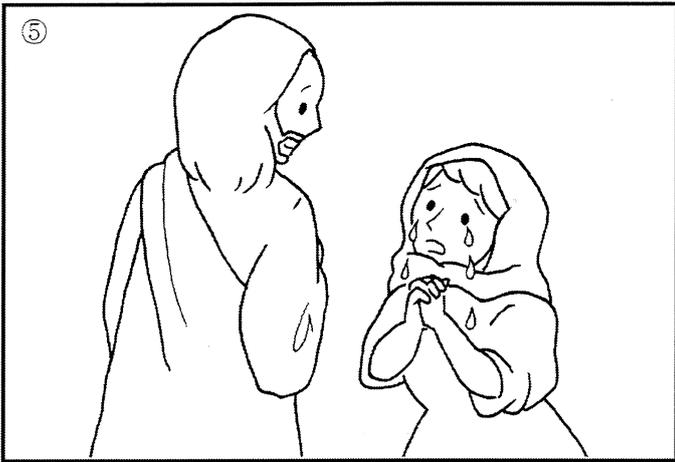
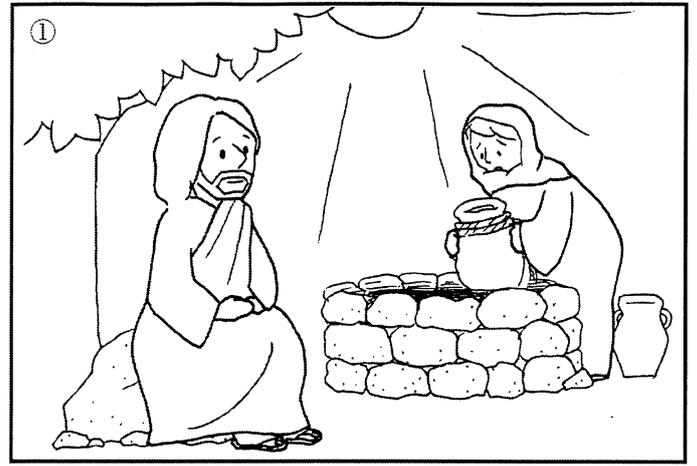
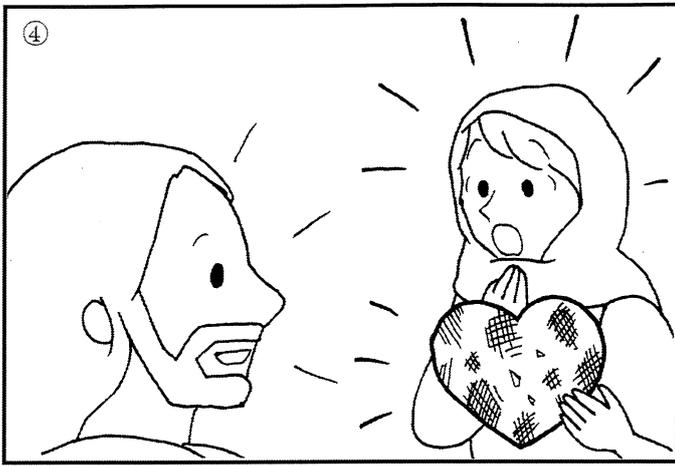
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月22日 イエス様を訪ねたニコデモ ヨハネ3・1～15

1. ある日の夜のことで、一人の人が暗い夜道を歩いてイエス様を訪ねて行きました。
2. イエス様の「人はもう一度新しく生まれなければ神の国にはいことはできません。」という言葉に、ニコデモはビックリして目をぱちくりさせました。
3. 「新しく生まれる」という、イエス様の言葉にニコデモはちんぷんかんぷんです。
4. 新しく生まれるために必要なことは、イエス様を神の子と信じるだけでよいのです。
5. イエス様はモーセがイスラエルの人々をエジプトから救い出し荒野を旅していた時のお話をされました。
6. 神様から遣わされたイエス様の十字架を見上げて信じるなら、だれでも神の子として新しく生まれ、天国に入れていただけるのです。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



わたしが^{あた}与える^{みず}水を^の飲む^{もの}者は、
いつまでも、かわくことがない

9月29日 「喜びいっぱい的心」 ヨハネ 4・4~26

1. 井戸の側に座って休まれているイエス様と、水をくみに来たサマリヤの女性。
2. 他の人の目を避けているので、朝の水くみには行きたくないサマリヤの女性。
3. イエス様はサマリヤの女性に声をかけ、「わたしが与える水を飲む者は、いつまでもかわくことがない…」とおっしゃった。
4. サマリヤの女性は、自分が罪深い者であることを自覚することができた。
5. サマリヤの女性は、イエス様に生ける水を求めた。
6. イエス様がくださった喜びの水が心に満ち、顔が輝くサマリヤの女性。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。